

2013年5月4日(火曜日)

天候 はれ  
風 北東 2  
波 うねり 2~3m  
目的地 蒲江港  
距離 91.6NM

油津沖はうねりが高いので手動操舵、  
ハーネスも短め、用心、用心。

間もなく日も暮れてしまいました。真っ暗  
な太平洋を右手に、左手には宮崎の海岸  
線沿いの明かりを眺め、目指す方向には  
星々が光っています…。

細島を遠く左に見て過ぎるころから8m位の流木の真ん中に発泡スチロールをつけた、パヤオ？が、闇から突如現れます。進むにつれその数が増えていきます。この海域夜間航行要注意です。

夜が白んだ4時30分頃、漁師さん伝授の仕掛けを流し始めます。シイラの入れ食いです。結局シイラしかつれずガッカリ。でも流石漁師の仕掛け、よく釣れます。

7時に蒲江港入港

漁協の指示で○に着岸。

やはり蒲江もネットの地図

や航空写真には無い栈橋

があったり、事前情報で着

岸OKの場所がNOだった

りです。

栈橋ができています

係留場所

事前情報の着岸場所





さて、折角蒲江まで来たのだから何か美味しいものはないかと、水産会社 3 社、商店 4 件、観光案内所を回ってもこれというものがありません。海の駅は高いだけ。

ヨットを覗きにきた道路工事の責任者へも「旨いもん無かですかー」と聞くと、接岸場所前の水産加工の社長を紹介され事務所へ。社長さん発泡スチロールの箱をつかむと「ちょっと行くばい」と動き出す。トコトコ(歩く)、バタン(ドア)、ブーン(アクセル音)山の方へフルスロットル、どこ行くのー。

1 件目は直径7メートル程の

生簀が 7~8 個あるイセエビ

業者、「イセエビは長崎で

食べたんで他に何か」と言う

じゃ次に行こうと、トコトコ、バタン

ブーン。2 件目は、うに、貝の



生簀が一杯。そこで 40 年ぶりに取れだし、地元の人もまだあまり知らないと言う、磯しじみ 3kg と、採れたてのうに 4 船を購入。社長持参の発泡スチロールに詰め込み。トコトコ、バタン、ドスン(荷物)、ブーンでKANALOAへ。

手数料も車代も何も受け取ってもらえず、かろうじて三島焼酎だけは受け取っていただきました。社長(長田商店)さん有難うございます。

夕食の、磯しじみのバター焼き、ウニ丼、クラムチャウダー美味し。



6日の朝、6時15分に出航。  
行き先は30マイルの宇和島です。  
15時着予定です。

蒲江港

係留	浮き桟橋	なし
水	あり	なし
陸電	あり	なし
燃料	あり	スタンド有り
トイレ	あり	海の駅 洋式
風呂	あり	レストラン こにし 500円
飲料水	あり	スーパー
食料品	あり	スーパー
酒	あり	スーパー
その他		

後で気づいたのですが、荷揚げ選別場には何十というバスタブ程の生簀が並んでおり、8時ごろから定置網の漁船も荷揚げ、活魚の競りが開始されます。競りに参加しているオバちゃんに頼んで食材を仕入れるのもいいかも知れません！



2013年6月6日(木曜日)

天候 曇り  
風 北 1m  
波 1m  
目的地 伊予宇和島港  
距離 50NM

6日の朝、6時15分に出航。  
行き先は30マイルの宇和島、  
15時着予定です。



水の子灯台

出航後、雨が降るとの予報に

反して、曇り空のまま、九州の地から四国に渡ります。

豊後水道の中央に位置する水の子灯台を左手に見ながら一路宇和島へ。昔は灯台守がいたそう。ここに?! ムムムムム...耐えられない。

宇和島港に14時ごろ入港。宇和島ヨットクラブの徳田さんの話しでは、ヨットクラブ独自のポンツーンは無く、クラブ員は宇和島港近郊に各自係留していると事でした。ただ、赤マルの所に浮き桟橋を作りつつあるとのことだったのでそこに向かったのですが。

見当たらない!  
電話連絡で教えていただいた、右手奥のフェリー乗り場方向に行く。フェリーの浮き桟橋は2本あります。右側はフェリーのみ、左側の桟橋の右側はフェリーや警察艇などが使用、一般小型船舶は左側のみ係留可能だそうです。



左側は一杯、仕方なく係留していた  
ヨットに抱いてもらいます。  
しばらくすると、岸よりの漁舟が出た  
ので急いで移動。浮き栈橋左側は  
早い者順で場所取りが基本だそうです。



ようやく落ち着いて、抱いてもらっていた  
佐世保からのヨットの方々とカナロア内で  
談笑。間もなく宇和島ヨットクラブの方も来訪  
お風呂や三崎港、潮流等の情報をいただき  
ました。



#### 泊地情報

- ・トイレ きさいや広場 洋式
- ・風呂 銭湯有り 徒歩 10分
- ・その他 公共の浮き栈なので陸電は

ありません。水はありますが警察艇のものなので許可が必要、燃料は浮き  
栈で給油できそうです。

日も暮れるころ、お風呂屋さんに行く  
ことに。歩いて15分つるの湯。小さい  
ながらもジェット風呂やサウナなども  
ありました。



風呂上りは、宇和島目的の鯛飯を銭湯近くの「かどや」で、生ビールが旨い。しかし、肝心の鯛めしは、卵かけご飯に鯛刺身を混ぜた物？味はう～ん。

明日6月7日は岬あじを食べに愛媛県の三崎港に行きます。  
8時ごろ出航予定です。

最後に 宇和島ヨットクラブの皆様有難うございました。しかし、宇和島港は水が汚く、西風の時は飼料の匂いが凄いです。宇和島の皆さん御免なさい！！

#### 宇和島港

係留	浮き桟橋	通勤、通学時間帯は満杯で係留できない
水	あり	警察艇に許可を
陸電	なし	
燃料	なし	
トイレ	あり	きさいや広場
風呂	あり	つるの湯 300円
飲料水	あり	市街地なので何でもそろいます
食料品	あり	
酒	あり	
その他		

2013年6月7日(金曜日)

天候 晴れ  
風 北北西 6~12  
波 1~1.5  
目的地 三崎港  
距離 29NM

8時45分三崎アジをめざして出航

風があります(うねりが少し)。  
快適なセーリング！  
宇和島ヨットクラブの方が「三崎港にはポン  
ツーンがあるよ」とのことで、入って見たが、  
無い！湾内をぐるぐる回って(赤が航跡)、  
最後にフェリー桟橋の反対側の岸壁に着岸。

泊地情報

・トイレ フェリーターミナルか交番

和式のみ。交番はトイレが外付けで24時間OK。

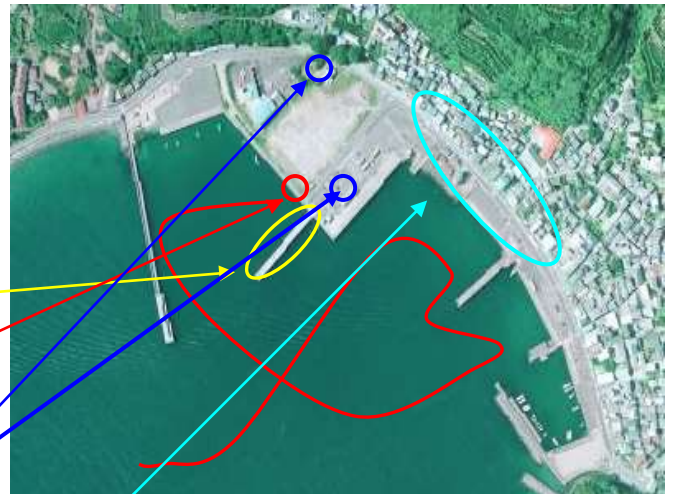
・お風呂 無し、民宿に泊まるしかありません。

・買い物 食堂、揚げ天屋、魚屋さん、パン屋さんがこのエリアにあります。

・その他 西、西南西の風るときはウネリが入り揺れが激しく熟睡できません。

岸壁が二段になっており大潮満潮時と西風るときは対岸の岸壁に係留したほうがいいでしょう。

岬あじを食うぞー！！と魚屋、食堂と探し回ったが、結局、岬あじは旬じゃないので無いとのこと！





めぼしい魚が朝の内に売り切れた魚屋か、サザエやアワビの冷凍しかおいていない魚屋しかなく、食堂も昼間のみ！

ああ～、皆沈黙。  
揚げ天と冷凍のカナトふぐを買って鍋。姫島に旨いものの夢を託し酒盛りに突入です。



8日フェリーより先に出航

姫島に向かいます。

温泉、車えび待ってろよー！！

三崎港

係留	岸壁	横付け
水	なし	
陸電	なし	
燃料	なし	
トイレ	あり	派出所は24時間
風呂	なし	民宿
飲料水	あり	
食料品	あり	
酒	あり	
その他		

2013年6月8日(土曜日)

天候 曇り  
風 東北東 1~2  
波 0.5  
目的地 姫島  
距離 38NM

最大時4ノットオーバーを誇る速吸瀬戸



潮流 2~4 7時

潮流の関係から6時に三崎港を出航です。靄で視界2マイル以下。

やがて速吸瀬戸核心部、湧き上がる潮が不気味です。最短距離の角度で姫島港へ、海図では左手に見えるはずの別府湾航路ブイも靄のせいで確認できません。オープンCPNと海図で現在地をダブルで確認。関門への航路ブイNo1が右手2マイルに見える地点を通過予定、間もなく予定通り靄の中、かすかに航路ブイが見えてきましたGOOD。

ここ姫島では大阪から1名、福岡から1名の仲間が車えびパーティーに参戦。姫島5マイル手前で大阪からの先行者からTELが。フェリー栈橋に居るとか。勿怪の幸い、スーパーの場所、魚の鮮度と品揃え、温泉の場所、防風壁岸壁の様子、トイレの場所と矢継ぎ早に調査願ひ。姫島の町を大阪のオッサンが小走りに走り回る姿が見えるようです。ハハハハ。

12時過ぎにカナロアも防風壁後ろに係留。岸壁直下の水深が浅い、念のため岸壁から2~3メートル離れられるよう舳をとりー安心です。



## 泊地情報

- ・係留場所 暴風壁はここだけ、遠くから確認できます
- ・トイレ 姫島シニアクラブがボランティアで毎日掃除、キレイです。24 時間使用可、女子用に洋式あり
- ・スーパー 2 箇所
- ・バス停 コミュニティーバス 無料  
温泉行きには欠かせません
- ・温泉 拍子水温泉
- ・水 トイレの方向岸壁近くに水道あり



岸壁にバイクで近づいてくる人影、ヘルメットを取る。なんと、KANALOAメンバー、鳥栖から山越えで来たとのこと、福岡のオッサンも元気です。これで全員集合！まずはカンパイ！！

干潮時、船底を打つ可能性があるので温泉行きを 2 班に分けることに。お風呂は拍子水温泉、金つけの炭酸泉ですが 25 度の源泉と 42 度の沸かし湯の湯船に交互に入ると気持ちいい！

後発組も温泉から帰って食事の準備です。でかい生蛸、鯛の刺身、鰹の湯引き、皆で料理、料理！そして生き締め冷凍車えび 7 匹 900 円 3 パック。いよいよ大宴会の始まりです。

まずは前菜っぽく、はもの酢味噌で一杯。  
次に鯛の刺身、蛸の刺身で。茹蛸はカボス酢味噌で頂きます。



メインメニューの車えびの塩焼きに突入。  
焼き手はバイクのオッサン。これが上手！  
ちょっと塩を利かせて、ミディアムの  
いいところを出してくれます。

頭のみそもうまい！身もぷりぷり！  
続けて3パック分、瞬く間に食べつくしてし  
まいました。

まだ蛸も鯛の刺身も残っています。  
鯛は漬けに、蛸は沢山残った刺身で、蛸の焼き  
飯と各々工夫して料理します。  
バターで蛸を炒めパックご飯を入れ昆布茶と  
塩胡椒、醤油を鍋肌から垂らしてジューッ！  
地中海チャーハンと言ったところでしょうか。

最後の締めは鯛あらの味噌汁と鯛の漬け丼  
です。酒は、ビールに焼酎、日本酒と限が  
有りません！

9日は朝から雨、風も強いです。

雨の中、観光や読書、買い物にと自由行動。  
14時には帰阪、帰福の2名を送り出し温泉へ。

夕飯はポトフ(残り野菜の処分?!)です。



○ トイレ ○ 水道



20時に就寝。  
明日は関門の潮流の関係から5時出航

33日ぶりに小戸に帰ります。小戸まで  
94マイル 19時～20時に着く予定です。

10日曇り、風も無く、いざ小戸へ。

関門橋をくぐると突然南東から、15mを  
超える吹き降ろし、フルセールで大慌てです。



早朝の姫島港

前から、後ろから進んでくる、タンカーの進路に神経を使いながら、レディーがひとりでラットを操っています。33日間のクルージング経験、伊達てじゃネエ！！

玄界灘に出ると東の風8～10、9ノットオーバー。早い早い！この調子ならプサンまですぐだね！の冗談にレディーがきっぱりと「NO ～小戸に帰る」と吼えておられました。17時小戸無事帰還。皆さんお疲れ様でした。

#### 姫島港

係留	岸壁	横付け
水	△	岸壁に水道ありただし距離50m
陸電	なし	
燃料	なし	横の岸壁で小型タンクローリーで漁船が給油してまた ので頼めば可能
トイレ	あり	公衆トイレ 24時間可 女子用に洋式有り
風呂	あり	温泉 コミュニティーバス10分
飲料水	あり	スーパー2軒
食料品	あり	
酒	あり	
その他		車えびは生より冷凍の方が旨い、フェリー待合所や 土産物屋で販売してます。地元の人アドバイスで は1パック7～8匹入りの中型が美味しいそうです。 食べ方は頭は塩焼き身はレアのしゃぶしゃぶが美味